

【 杉戸町議会初！インターン生を受け入れました 】

私が政治家になったきっかけは、学生時代に元厚生労働大臣である細川律夫事務所にインターン(職場体験)をしたことです。そのとき、お世話になったドットジェイピーという団体から学生を受け入れてくれないかという依頼があり、今年の夏、初めてインターン生として学生 3 名を受け入れました。インターン生には、私が普段行っているポスティングや町政報告会への参加、そして市民活動のお手伝い、さらには国会見学や町内の公共施設等の見学、私の一般質問の傍聴などを通じて、現在の杉戸町における課題などを一緒に考え、普段私のような地方議員がどのような活動をしているのかを体験してもらいました。活動時間は他の受け入れ団体と比べてもトップクラスだったということで充実した時間を送ることができたのではないかと考えます。活動の様子についてはブログをご覧ください。



高木鎌太郎代議士、インターン生と(国会事務所)



新井久喜市議、インターン生と(議場)

【 町政報告会&ストレッチ・健康体操 】

町政報告会に合わせて、今回も小笠原雄司先生をお招きし、ストレッチ教室を開催します。ただ体操をするのではなく、考えながらやることによって効果が倍になります。ご参加お待ちしております！

日 : 11月10日(土)
 時間 : 午前10時より正午まで
 場所 : 中央公民館・研修室
 内容 : 町政報告会と健康体操など

【 大橋よしひさ(37歳)プロフィール 】

- ・ 杉戸町生まれ。杉中、越谷北高校、明治大学卒。 ・ 家族 妻・長男と3人暮らし。
- ・ 学習塾・向学館塾長。現在満員にて中学生は募集停止。
- ・ 消防団(第2分団)所属、商工会青年部加入、地域の一員としても活動しています。

知！ **130人**

杉戸町の消防団員の数です。
 定員が134名なので、現在欠員4名となっています。

杉戸町議会議員

平成30年10月発行

大橋よしひさレポート

第41号



発行元：大橋よしひさ後援会

事務所：[杉戸町内田 3-9-5 / 34-7392]

e-mail：yoshihisa.ohashi.sugito@hotmail.com



ホームページ開設!!

大橋よしひさで検索!

ブログも更新中!

安心安全なまちづくりへの第一歩!

現在、町では防犯灯や反射鏡を設置するには、原則、区長から依頼しなければいけないことになっていて、町民にとっては区長は誰かを、そして、その連絡先を調べてわざわざ連絡しなければならず、なかなか皆さまの意見を反映させることができない状況になっています。

そこで前号では安心安全に暮らせるために、「ミラーをつけて欲しい!」「防犯灯をつけて欲しい!」など、そんな皆さまの声を大募集いたしました。お寄せいただいた皆さまの声の現場を確認する中で、地元の人しか分からない危険な箇所、私も危険だと認識していた箇所があり、改めて安全に対する意識が向上しました。

そしてお寄せいただいた要望書を10月17日に町宛に提出いたしました(提出した要望書についてはH.Pなどをご覧ください)。今後の推移を見守っていきます。

引き続き皆さまからの声をお待ちしています。



[要望書受付先の住民協働課長に要望書提出]

知！

このコーナーでは、杉戸町のミニ情報をお届けします。

いづれを山折りにしてお読みください。

【 本当に町にはお金がないのか？平成29年度決算審査！ 】

町財政を家計に例えると、収入には、

- ① 平成29年度の収入
- ② 今までにやりくりして貯めてきたお金
- ③ 貯金の取り崩し の3つに分かれます。

以上を考慮して内訳を見ると下のようになります。

約124億1000万円(㊸)

貯金取り崩し 2億1300万円
やりくりして貯めたお金 3億6100万円
平成29年度の収入 118億3600万円(㊹)

収入

このようにトータルでは、
3億6300万円の黒字(㊸-㊹)ですが、
平成29年度単年では、
2億1100万円の赤字(㊹-㊺)でした。
※10万円単位で四捨五入したため、
最大100万円の誤差があります。

約120億4600万円(㊺)

単年度で見ると赤字分
平成29年度に使ったお金 と30年度に使うお金 120億4600万円(㊺)

支出

※平成27年度に、トータル(実質収支)が赤字となっている自治体は、全国に1つもありません。
だから必ずしも黒字だから
余裕があるとも言えません。



次に、**貯金(基金)**についてです。

貯金は大きく2つの種類があります。

- ① 使い道に決まりがない(財政調整基金)
- ② 使い道に決まりがある(公共施設改修基金など)

これらの推移は以下のようになっています。

	平成28年度	平成29年度	(増減)
使い道に決まりがない	9億6700万円	9億3500万円	3200万円減
使い道に決まりがある	3億6500万円	4億1400万円	4900万円増
計	13億3200万円	13億4900万円	1700万円増

また、借金の総額は平成28年度は前年度に比べ**1億8100万円減の84億8600万円**となりました。

知！ 20,338人

平成29年度に巡回バスを利用した人数です。
前年度22,401人に比べて、2,063人減になっています。

大橋よしひさ町政に問う！

＜ 民間のお店に赤ちゃんの駅への登録呼びかけ ＞

問(大橋):町の公共施設の授乳スペースはパーテーションで区切られただけでプライバシーが守られていないところが多いが、現状をどうとらえるか。



パーテーションのみの授乳スペース(公民館)

答(子育て支援課長):承知しているが、財政などの面から整備する考えはない。

問(大橋):春日部市役所には、mamaro という設置型の個室授乳室があり、リース料も非常に安価であるという。アグリパークなどの子連れが多い施設に設置しては。

答(農業振興課長):アグリパークと相談したい。

問(大橋):今は、アプリなどでも授乳場所やおむつを替えられる場所が検索できる。そのようなサービスを提供する企業に情報を提供していくことも大切ではないか。

答(子育て支援課長):行政としてもそういった子育て支援の取り組みの一翼を担っていただけるとするのは、大変大きなところであると感じている。

問(大橋):赤ちゃんの駅として町内の保育園、幼稚園や公共施設が登録されているが、土日が休みであったり活用しにくい。だから、民間のお店の情報を集めるべきではないか。

答(子育て支援課長):ここ数年そのようなはたらきかけをしなかった。民間企業としてもPRすることができるので、研究していきたい。

問(大橋):お金がないから何もできないのではなくて、行政が子育て支援に一生懸命になっている姿勢を見せることが大切だと思うが。

答(町長):自分なりに勉強して是非やっていきたい。

他にも、「公共交通の今後」について質問しました。現在、新制度移行への暫定期間となっておりますが、2年後の新制度は「巡回バスの充実」を基本方針にしていることが明らかにされました。巡回バスよりもデマンド交通の導入を求めてきた私ですが、質疑に対する答弁はとても納得できるものではありませんでした。今後もこの問題を取り上げていきたいと思っております。

知！ 669,664食

平成29年度に給食センターで調理された給食の数です。
その賄い材料費は1億746万円にものぼります。